

専門医試験問題作成に関するワークショップ開催のお知らせ

試験委員会 筆記試験担当理事 芳賀 信彦
委員長 中馬 孝容

試験委員会では、専門医試験のあり方についての検討およびリハビリテーション科専門医試験の問題作成を行っています。日進月歩の医学の発展とともに専門医として習得すべき内容は多様となり、試験問題も時代の流れに応じた問題の検討が必要と考えております。

近年（概ね過去3年以内に）専門医試験に合格された先生方を中心に、特別委員として新作問題に携わっていただきたいと考え、試験問題作成に関するワークショップを企画いたしました。専門医としての適任を適切に評価できる試験問題作成をめざしたいと考えております。

皆様のご参加および専門医試験作成をお願いしたいと考えております。多数のご参加をお待ちしております。

なお、今回より、参加された先生方に生涯教育の履修単位5単位付与することになりました。

日 時：2014年6月6日（金） 13：00～14：00

場 所：名古屋国際会議場 第10会場（2号館2階 会議室221）

専門医試験の筆記試験問題作成についてのミニレクチャーおよびワークショップ形式で行います。

お詫びと訂正

試験委員会 担当理事 芳賀 信彦
委員長 中馬 孝容

学会誌第50巻第12号に掲載いたしました第10回専門医試験問題の問41について、解答を(2)と記載していましたが、(2)は誤りの選択肢ではないことが判明いたしました。従って本問題は適切な解答のない問題として採点対象から除外することになりました。お詫びして訂正させていただきます。なお、本問題を採点対象から除外することにより、合否の判定に変更はありません。

問41 脳の陽電子放射断層撮影法（PET）で誤っているのはどれか。

- (1) 核種を製造するためのサイクロトロンが必要である。
- (2) γ 線を放出するラジオアイソトープを用いる。
- (3) MRI画像に重ね書きして用いる。
- (4) activation studyが可能である。
- (5) 血液循環に関する情報が得られる。